

# 令和5年度 第一回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会

## <議事要旨>

■日 時：令和5年7月4日（火）15：00～16：50

■場 所：国営海の中道海浜公園事務所

■主な意見等

### 1) 国営海の中道海浜公園の利用状況、本協議会の進め方について

### 2) 各主体における昨年度の取組内容及び今年度の取組内容

- ① 各機関それぞれ取材を受ける機会があったとのことだが、PR と CM には違いがあり、CM も良いが、それより PR をいかに上手にするかが大切だ。テレビや新聞各社、それぞれの担当者と個人的に親しくなるくらい密になり、書いてくれた記者の方へは御礼を伝えるなど、メディアのなかに組織のファンを作る努力があっても良いのではないか。時には批判されてもいい。批判も認知度を上げる一つの方法だ。まずは取り上げられ、知られることが大切で、いかにパーソナルな関係を持つかを心得、検討していけば良いと思う。毎回の会合で報道してくれたTVや新聞などの記者やディレクターなどの氏名などを共有し、情報をその方たちに必ず伝えることを継続して欲しい。[有識者]

→INN THE PARK の取材は拠点である九州支店の担当職員が受けている。PR と広報活動を上手くミックスして取り組みたいと思っている。[園内関係機関]

→PR 戦略とパーソナルコンタクトを今後発展させていただければと思う。[有識者]

- ② 企業研修メニューの開発については宿泊プラン等と合わせて行う等、様々な可能性があると思っているが、単発的な開催なのか今後どのように展開する予定かお聞きしたい。[有識者]

→まずは試行的に開催した。今回は潜在資源の活用という観点から砂浜などに着目した。今後は SDGs の観点でも今回の海エリア以外に森エリアの松原や広い空間の活用も視野に入れている。課題はマンパワーだと考えている。現在、企業の CSR 活動を多く受け入れており、ビーチクリーンや森づくりのための草刈りなどマンパワーが非常に役立っている反面、いずれかをスクラップしていかなければ企業研修の対応等サービス維持は難しい。とはいえ、レイガンズや INN THE PARK の滞在利用者は公園の PR にも繋がるため意欲的にチャレンジしていきたいと思っている。[園内関係機関]

→このようなプログラムはほとんど知られていないと思うので、マンパワーが必要なのは理解しているが、公園を使ってメニューの認知度を上げていくと評判が出て良い方向に行くのではと思う。[有識者]

- ③ 前回に比べると主体間の連携は増えた印象はあるが、海の家と INN THE PARK が連携した結果、課題と感じたことや良かったことがあれば共有してほしい。[有識者]

→課題は、星座に精通した職員が一人しかいないことだ。まずは企画に対応できる職員を増やす必要がある。また、今後発展させるためには、他機関とも連携し他のメニューも考えていけばより良いと考えている。良かった点は、INN THE PARK と連携することで認知度が上がることはもちろん、イベント参加者が増えることで職員のモチベーションが上がり、他の職員のスキルアップにも繋がることと考えている。[園内関係機関]

→パークマネジメントに関わる主体が多いので、それぞれが毎年同じことをしていてもだめだと思う。

個々の主体が個別に事業を実施するのではなく、国営海の中道海浜公園事務所を中心にして多様な主体の連携をさらに推進するための仕組みが必要。日常的なパークマネジメントで得られた利用者のニーズを活かして更なる公園の魅力向上に役立ててほしい。各主体の才能を活かし、受け入れる側のスキルアップに繋がると今後更に可能性があるように感じる。[有識者]

- ④ 公園 HP からそれぞれの取組みが非常に分かりづらい。主体としての取組みがリンク先にいかなければ分からないのはもったいないように感じる。試行的に、各機関同時に発信するなど創意工夫次第で相乗効果が増すのではないか。必然的に全体の連携も生まれ、広報面でもメリットがあると思う。

[有識者]

→HP でお互いリンクを飛ばすことは技術的に可能だが、各機関単体で取り組んでいるものと連携して取り組んでいるものを、どのような形にして公園全体で発信させるか、試行も含め議論していきたいと思う。[公園管理者]

→利用者目線で何を知り何がしたいのか考え、多様な対応をどこまでするか、更に検討していただけたらと思う。[有識者]

→時間はかかると思うが、まずはお互いの情報共有から始め、いずれ自主的に互いの情報を発信するように繋がれば、集客にやりがいも感じられるのではないか。全部を変えるのではなく、少しずつ変え効果を見ていけば良い。[有識者]

→HP デザインに関しては著作権も関係してくる場合があるかと思うが、いろんな仕組みを検討いただければと思う。[有識者]

- ⑤ 希少生物の保全について、ニッポンパラタナゴは順調に増えているのか。一つ心配なのは、増えすぎることだ。池に戻したとき最大何匹まで生きられるか予測はされているのか。[有識者]

→何百何千という単位ではないが順調に結果が出ており、今年度はこれまで水槽で育てていたものを現地へ移し自然繁殖を目指している。最大何匹かは分かりかねるが、まだそこまでの数に達していない。そもそも普通に日本にいた生き物がいなくなっているのが元に戻したいという思いでやっている。[園内関係機関]

- ⑥ 外来種駆除について、海中でこのような取組みがされていることは発信されているのか。アメリカザリガニやウシガエルは分かりやすいので広報にも使えるのではないか。[有識者]

→駆除に関しては発信していない。生き物の命に関わりセンシティブでいろいろなご意見があり、発信は慎重であるべきと考えている。[園内関係機関]

→生命に関わるデリケートな問題について、いろんな価値観をお持ちの人がいる。駆除という言葉を使わずに PR する工夫の余地はないだろうかという投げかけとしてはいかがか。[有識者]

→言葉の選び方一つで大きな反応が起こりかねない。過去にもお客様から様々なご意見をいただききたなかで、広報によっては公園全体に影響するため、PR する情報選びも気をつけている。[園内関係機関]

- ⑦ 松林の保全について、取組みの状況はいかがか。[有識者]

- D 地区では工事用の搬入園路確保等も含めて段階的に行っている。しかし、風や砂の影響を受け、なかなか定着が難しいのが全体的な傾向。ボランティアに植えていただいた箇所も砂が被るなど、厳しい環境のもとで課題が多いと考えている。[公園管理者]
- 松林の復元は公園の魅力向上に繋がると思っているので、時間はかかると思うが再現に取り組んでいただきたい。[有識者]
- 海の中道海浜公園を国営公園で取り組む目的・使命の一つは松林の再生にあると考えており、しっかり取り組んでいかなければならないと思っている。[公園管理者]

－以上－